



日本情報科教育学会ニュースレター

Japanese Association for Education of Information Studies

事務局：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL：03-5155-7576 FAX：03-5155-7578

E-mail jimu@jaeis.org http://jaeis.org/

第1回全国大会を終えて，本学会副会長よりご挨拶

九州工業大学 西野和典

6月28日（土）・29日（日）に，滋賀大学教育学部において第1回全国大会を開催した。梅雨で蒸し暑い中，全国各地から152名の参加を得て，基調講演のほか招待講演2件，パネルディスカッション2件，一般講演47件，ワークショップ3件を次のように実施することができた。

<p>第1日：6月28日（土）</p> <p>8:50～9:20 受付</p> <p>9:30～12:00 一般講演</p> <p>12:00～13:00（昼休み）</p> <p>13:00～13:10 挨拶 成瀬龍夫（滋賀大学学長）</p> <p>13:10～13:50 総会（総会資料はWebに掲載）</p> <p>14:00～14:30 基調講演 岡本敏雄 （本学会会長，電気通信大学大学院教授） 「情報科教育学の体系化を目指して」</p> <p>14:40～15:30 招待講演 安藤慶明 （文部科学省 初等中等教育局 参事官） 「情報教育の現状・課題と展望」</p> <p>15:40～17:00 パネルディスカッション1 テーマ：情報科教育の新しい展開 司会：松原伸一（滋賀大学） 話題提供：永井克昇 （文部科学省初等中等教育局視学官）</p> <p>パネリスト：小泉力一（尚美学園大学） 松田稔樹（東京工業大学）</p> <p>18:00～20:00 懇親会 会場：大津プリンスホテル</p>	<p>第2日：6月29日（日）</p> <p>8:50～9:20 受付</p> <p>9:30～12:00 一般講演/ワークショップ</p> <p>12:00～13:00（昼休み）</p> <p>13:00～13:10 挨拶 吉川栄治 （滋賀大学教育学部長）</p> <p>13:10～14:20 招待講演 宗平順己 （㈱オーグス総研 技術部長） 「今求められているIT人材と情報科教育への期待」</p> <p>14:30～16:30 パネルディスカッション2 テーマ：情報のモラルと安全 司会：田中規久雄（大阪大学） パネリスト：石原一彦（岐阜聖徳学園大学） 江守恒明（富山県立砺波高等学校） 佐藤万寿美 （兵庫県立西宮今津高等学校）</p> <p>16:30 閉会</p>
---	--

他の情報教育関連学会に比べて小・中・高校および教育委員会関係の先生の参加率が高く，参加者のうちの約3分の1を占めていた。一般講演では47発表中22件が小中高教員からの発表であり，小中高教員の積極的な参加をめざす本学会の方向性に沿った大会となった。

本号目次

第1回全国大会を終えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・1	日本情報科教育学会誌の発行について・・・・・・・・・・4
第1回全国大会のご報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	高校教科「情報」シンポジウムのご案内・・・・・・・・・・4
ワークショップのご報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・3	第2回全国大会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
記念フォーラムのご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・3	会員用サービス「C-learning」の運用について・・・・・・4

日本情報科教育学会第1回全国大会のご報告

基調講演と招待講演

基調講演は、本学会会長で電気通信大学大学院の岡本敏雄教授が行った。Through ICT（eラーニングのようにICTを介して様々な学習を行うこと）、With ICT（ICTを問題解決や学習、コミュニケーションの手段として活用すること）、About ICT（ICTそのものについてその原理を理解し、正しい使い方や発展的な使い方を学ぶこと）の3つの観点を述べ、教科「情報」の目標論としては「About ICT」、手段として「Through ICT」と「With ICT」が不可欠であり、教科「情報」においてはこれら3つのバランスが大切であることを述べた。



初日の招待講演は、文部科学省初等中等教育局の安藤慶明参事官（当時）が、改訂される学習指導要領の趣旨と概要、情報教育の位置づけについて解説があり、学校のICT環境の整備、教員のICT指導力の向上、校務の情報化、情報モラル教育等についての現状と課題についての解説があった。また、最後に、本学会への期待が示され、今後の学会活動の方向を見極める上で示唆に富む講演であった。

2日目の招待講演は「今求められているIT人材と情報科教育への期待」がテーマで、株式会社オージス総研の宗平順己氏を招き、IT人材育成の視点から情報科教育への期待や要望についてお話しいただいた。システム開発のプロセスやITスキル標準等の規準を示しながら求められているIT人材についての説明があった。

パネルディスカッション

初日には、「情報科の新しい展開」と題して普通教科「情報」に焦点を当てたパネルを実施した。文部科学省初等中等教育局の永井克昇視学官が、2008年1月の中央教育審議会の答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について」の中で示された小・中・高等学校段階を通じた情報教育の位置づけについての解説が行われた。さらに、普通教科「情報」と専門教科「情報」の趣旨と目標を解説し、内容の方向性についての説明が加えられた。続いて、尚美学園大学の小泉力一先生が「情報の科学」の視点から、東京工業大学大学院の松田稔樹先生が「社会と情報」の視点から、それぞれ情報科教育の新しい展開について説明があった。



2日目のパネルは、「情報のモラルと安全」と題して3人のパネラーから問題提起が行われた。岐阜聖徳学園大学の石原一彦先生が「情報モラル教育の全面実施に向けて」のタイトルで、「あるべき姿」を児童生徒に提起するポジティブな情報モラル教材の開発が求められることなどを唱えた。次に、富山県立砺波高等学校の江守恒明先生が「情報モラル指導の実際と課題」と題して、掲示板やwiki、blogが利用できるグループウェアを利用した情報モラル指導の実践等を紹介した。最後に、兵庫県立西宮今津高等学校の佐藤万寿美先生から「保護者同伴の情報安全教育」や授業前に実施する「情報モラルの小テスト」の紹介等があった。その後ディスカッションを実施したが、株式会社ネットマンが提供するコミュニケーション支援システム「c-learning」を利用させていただき、効率よく実施することができた。

ワークショップ

全国大会と並行して、大会2日目の6月29日（日）9:20～12:00に、滋賀大学教育学部地域教育支援室と近畿情報教育連合の共催を得てワークショップを開催した。ワークショップは3会場に分かれ、並行して行われた。ワークショップの企画には随分時間をかけ「プログラミング」「人材育成」「ネットワーク」の3つの分野に絞って、実習を伴う参加型のワークショップを実施した。3会場で合計30名の参加を数え、参加者にはワークショップの学会から参加修了証を授与した。

一般講演

一般講演発表は、両日とも午前中に実施し、6月28日(土)は4会場(合計31発表)、6月29日(日)は2会場(合計16発表)を並行して実施した。一般講演を内容別にまとめると、教育実践(7件)、ICT活用(8件)、情報倫理・情報モラル(4件)、教材開発(4件)、インストラクショナル・デザイン(4件)、カリキュラム(4件)、情報教育(4件)、国際交流(4件)、教育システム(4件)、メディア(4件)であった。いずれも12分間の発表後に質疑が行われ、議論が白熱した会場も少なくなかった。

謝辞

大会を開催するにあたって、文部科学省および滋賀県教育委員会の後援をはじめ、滋賀大学教育学部および近畿情報教育連合の共催など多くの団体からご支援を頂いた。また、全国大会講演論文集への広告掲載、別紙広告配布、会場展示を通じて、多くの企業・団体からも協力をいただき、大会を開催することができた。各機関、企業、団体に心より謝意を表したい。

「体験!情報デザイン」ワークショップのご報告

「相手に情報を伝える能力」への気づきを主なテーマとして開催され、高等学校の先生方をはじめ、30名以上の方が参加された。

日時：2008年8月11日(月)13:00-17:00

場所：専修大学 生田キャンパス 10号館

会場には、折り紙、ハサミ、ノリが準備されており、否が応でも何が始まるのだろうという期待感が膨らむ。まずは「ほし」と「やじるし」を折り紙で切り抜く作業からはじまり、コミュニケーション・モデルの説明がされた。

次に、2人一組となり、片一方の人が見た図形を言葉のみで表現し、もう一方の人が、その言葉から図形を作成する体験を行った。この体験からは、“正確に”相手に情報を伝えることの難しさを体感した。また、時計、ゲームのキャラクタ、花などのように、メタファを用いる場合は、双方が理解できることが前提であることが解説された。

最後のセッションでは、個人個人の記憶の断片を1つのシートに纏め、チームで1つの大きなストーリーとしてつなぎ合わせるが行われた。この過程において、個人のシートに表現された記憶の断片を補完する時間や空間、前提、背景などをグループで話し合うこととなった。

いずれのセッションにおいても、コンピュータは全く使わなかったが、参加者相互に情報をやりとりし、確かにコミュニケーションが行われた。今後、このワークショップで学んだことをどのように情報科の授業に活かしていくか、また、その授業からさらに新しい発想が産まれることを期待したい。最後に、すばらしい時間を提供して下さった、ワークショップ講師の専修大学の上平先生および上平研究室の諸君に記して謝する。



日本情報科教育学会記念フォーラムのご案内

日本情報科教育学会の設立1周年を記念して、記念フォーラムが開催されます。

日時：2008年12月21日(日)14:00~17:00

場所：東京学芸大学

プログラム(予定)

- 14:00~14:30 会長挨拶
- 14:30~15:40 各研究部会での活動方針・内容審議(分科会)
- 15:40~15:50 休憩
- 15:50~16:10 各研究部会での活動方針・内容報告(全体会)
- 16:10~17:00 講演(次期学習指導要領について)

日本情報科教育学会誌の発行について

2008年10月5日の理事会・評議会で、日本情報科教育学会誌の発行について、以下のことが決まりました。

1. 日本情報科教育学会誌の創刊号について

創刊号は「創刊記念号」とし、全て依頼原稿として、2008年内の発行を目指す。

また、当年度1回の発行として、自由投稿論文の掲載は、第2号からとする。

2. 編集委員会の構成について

(1) 編集幹事会の設置について

- ・編集委員会に編集幹事を設け、編集幹事会を組織する。
- ・編集幹事会は、委員長、委員長代行（副委員長）、編集幹事で構成する。
- ・創刊号については、実質的に編集幹事会が行う。

(2) 編集委員会の構成

- ・編集委員会は、委員長、委員長代行（副委員長）、編集幹事、編集委員で構成する。

委員長：坂元 昂（東京未来大学 学長）

委員長代行（副委員長）：松原伸一（滋賀大学）

編集幹事：高橋参吉（千里金蘭大学）、田中規久雄（大阪大学）

西野和典（九州工業大学）、宮寺庸造（東京学芸大学）夜久竹夫（日本大学）

編集委員：編集幹事会に一任する。

『高校教科「情報」シンポジウム 九州 ジョーシン九州』のご案内

テーマ：情報教育における高大連携（本学会共催事業）

日時：2008年10月26日（日曜日）10:00～16:50

場所：西日本総合展示場（北九州市小倉北区浅野3-8-1：小倉駅北口徒歩5分）

* 詳細は、<http://sigps.tt.tuat.ac.jp/>を参照してください。

日本情報科教育学会第2回全国大会のご案内

2008年10月5日の理事会・評議会で、第2回全国大会が九州工業大学で開催されることが決まりました。

日程：2009年6月27日（土）～28日（日）

場所：九州工業大学 情報工学部（飯塚キャンパス）

会員用サービス「C-Learning」の運用について

各部会の連絡や情報共有ため、学会公式システム「C-Learning」を利用しています。入会希望部会の登録は、手順書（http://www.jaeis.org/pdf/bukai/bukai_touroku.pdf）をダウンロードして確認してください。なお、初期登録については、携帯電話からお願いします。

登録後は、PCは、「<https://jaeis.c-learning.jp/sp>」，

携帯電話は、「<https://jaeis.c-learning.jp/s>」からご利用いただけます。

日本情報科教育学会ニュースレター No.3 2008年10月10日

発行所 日本情報科教育学会事務局 <http://jaeis.org/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL：03-5155-7576 FAX：03-5155-7578 E-mail jimu@jaeis.org

発行責任者 広報委員会

委員長：高橋参吉（千里金蘭大学）

委員：上市善章（千葉県総合教育センター）、高橋朋子（武庫川女子大学）、天良和男（東京都立日比谷高等学校）、西田知博（大阪学院大学）、西端律子（畿央大学）、斐品正照（東京国際大学）